

令和7年1月24日（金）  
令和6年度第2回肝疾患診療連携拠点病院間連絡協議会  
参加者（医師・事業/事務担当者）向け研修会  
東京コンファレンスセンター・品川

## 奈良県の肝炎対策の取り組みについて



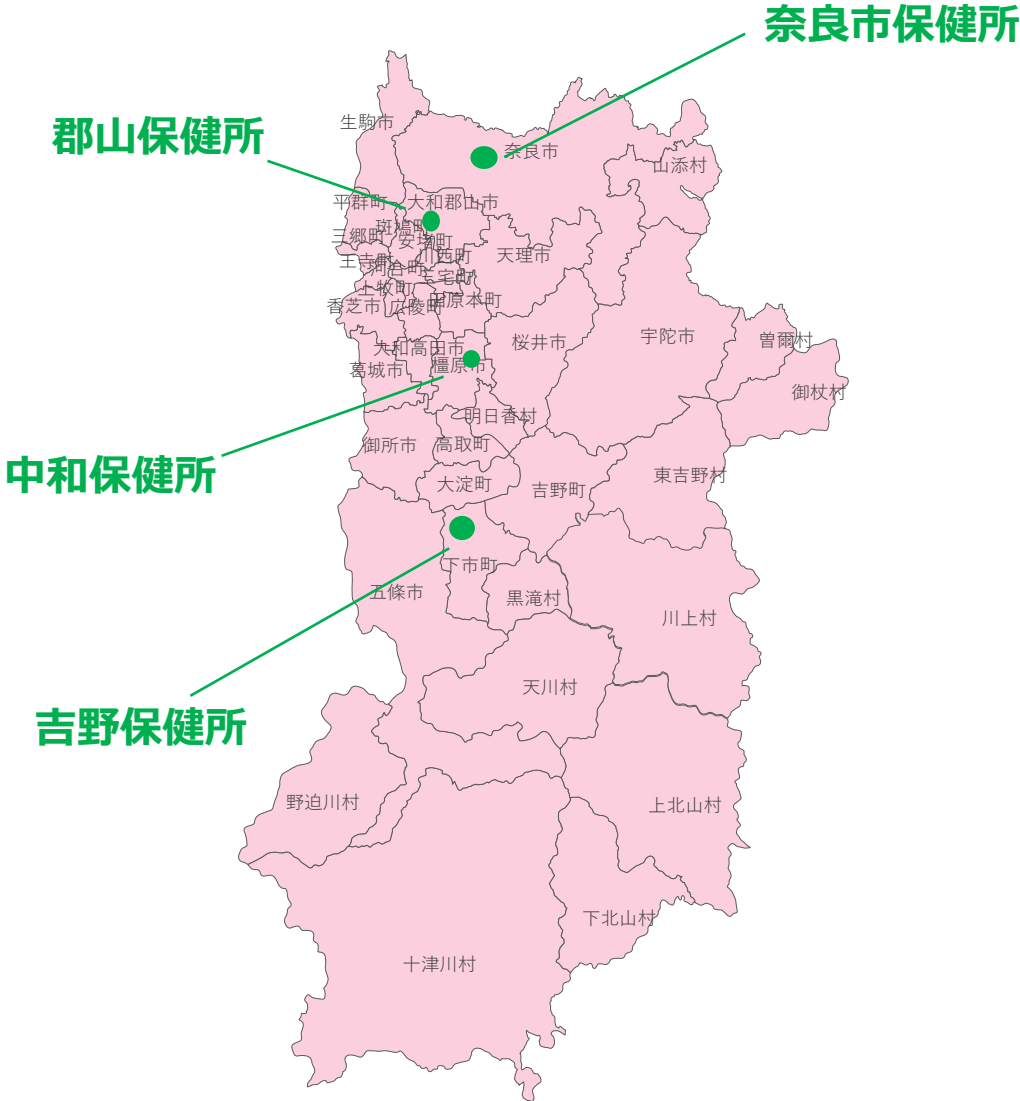
©NARA pref.

奈良県マスコットキャラクター セんとくん

奈良県福祉医療部医療政策局疾病対策課  
感染症係 主任主事 坂野 瑞希

# 奈良県の概況

- 人口 1,283,679人 (令和6年12月1日時点)
- 面積 3,691.09km<sup>2</sup>
- 市町村 39市町村



# 二次保健医療圏について

## 西和医療圏

肝疾患に関する専門医療機関：15医療機関

- 大和郡山病院
- 近畿大学奈良病院
- 奈良県西和医療センター

## 中和医療圏

肝疾患に関する専門医療機関：14医療機関

- ★ 奈良県立医科大学付属病院
- 大和高田市立病院
- 平成記念病院

## 奈良医療圏

肝疾患に関する専門医療機関：19医療機関

- 奈良県総合医療センター
- 市立奈良病院

## 東和医療圏

肝疾患に関する専門医療機関：16医療機関

- 天理よろづ相談所病院
- 国保中央病院
- 済生会中和病院
- 宇陀市立病院

## 南和医療圏

肝疾患に関する専門医療機関：3医療機関

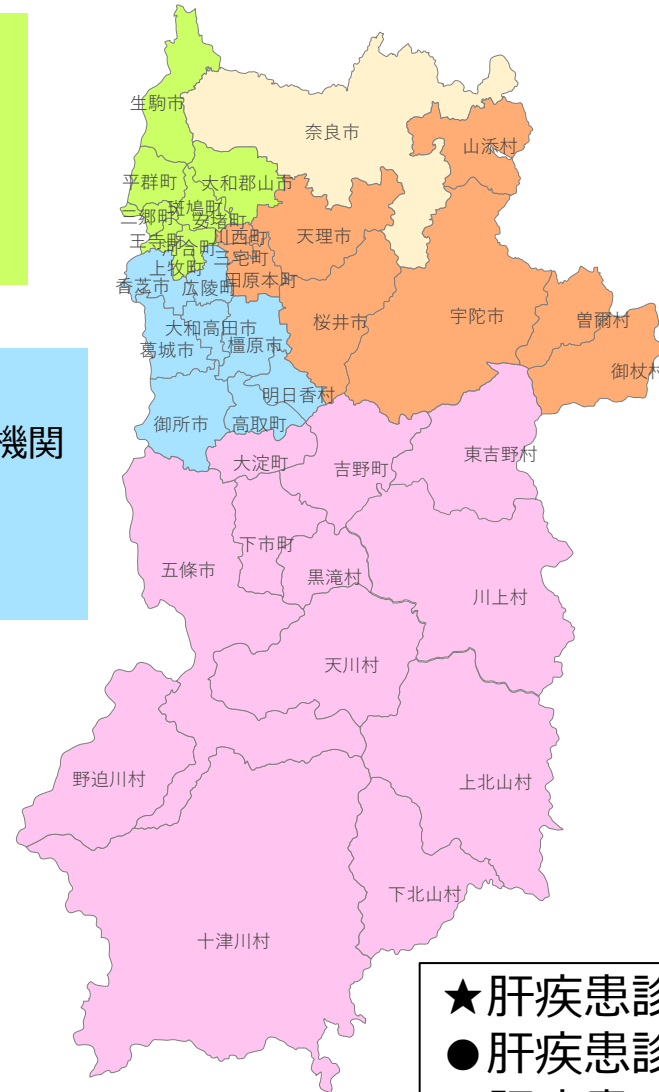
- 南奈良総合医療センター

★ 肝疾患診療連携拠点病院：1医療機関

● 肝疾患診療中核専門医療機関：12医療機関

肝疾患に関する専門医療機関：上記含め67医療機関

5つの二次医療圏



# 奈良県肝炎対策ガイドラインについて

- ・奈良県の肝炎対策については「奈良県保健医療計画」「奈良県がん対策推進計画」にも位置づけられていたが、本県の肝炎対策推進をより効果的に推進するため、「奈良県肝炎対策ガイドライン」を平成30年3月に策定
- ・「肝炎対策の推進に関する基本的な指針」の改正をふまえ、令和6年3月にガイドラインを改定

奈良県肝炎対策ガイドライン

令和6年3月

奈良県福祉医療部医療政策局疾病対策課

## 目次

### 第1 趣旨・位置づけ

### 第2 現状と課題

- 1 肝炎と肝がん
- 2 肝炎ウイルス検査
- 3 肝炎の重症化予防
- 4 医療費助成
- 5 肝炎医療提供体制
- 6 奈良県肝炎医療コーディネーター
- 7 奈良県肝疾患相談センター
- 8 肝炎予防・普及啓発に関する取組

### 第3 個別施策

- 1 感染予防
- 2 肝炎ウイルス検査の受診勧奨と検査陽性者に対する受診勧奨
- 3 肝炎医療を提供する体制の確保
- 4 肝炎の予防及び肝炎医療に関する人材の育成
- 5 肝炎に関する啓発及び知識の普及並びに肝炎患者等の人権の尊重に関する事項

### 第4 数値目標

# 奈良県肝炎対策ガイドラインで設定している目標値について

肝炎総合対策を推進することにより、肝硬変又は肝がんへの移行者を減少させ、「肝がんの死亡者数を毎年減少させること」を目標とし、あわせて目標達成のために個別目標を設定。

項目	内容		基準値	現状値
目標年	令和8年（2026年）			
全体目標	肝及び肝内胆管がん75歳未満年齢調整死亡率 （人口10万人あたり）	前年度より減少	3.0 (R3)	3.1 (R4)
個別目標	1. 県・市町村における肝炎ウイルス検査の 3カ年累積受験者数	B型肝炎 22,000名	B型肝炎 18,873名 (R2～R4)	B型肝炎 17,828名 (R3～R5)
		C型肝炎 22,000名	C型肝炎 18,875 (R2～R4)	C型肝炎 17,829 (R3～R5)
	2. 市町村実施の肝炎ウイルス検診で陽性となった人が 初回精密検査を受検する割合	100%	68.2% ※n=22 (R4)	62.5% ※n=16 (R5)
	3. 全市町村に肝炎医療コーディネーターを設置	39市町村	32市町村 (R5)	32市町村 (R6)

# 肝炎ウイルス検査の実施状況について

- ・健康増進事業に基づく肝炎ウイルス検診を県内39市町村で実施
- ・特定感染症検査等事業に基づく肝炎ウイルス検査を県内保健所及び県と委託契約を結んだ医療機関により実施

健康増進事業における肝炎ウイルス検診実施件数

	B型肝炎			C型肝炎		
	受検者数 (人)	陽性者数 (人)	陽性者率 (%)	受検者数 (人)	陽性者数 (人)	陽性者率 (%)
令和元年度	5,806	25	0.43	5,803	9	0.16
令和2年度	6,206	24	0.39	6,208	10	0.16
令和3年度	5,823	19	0.33	5,822	7	0.12
令和4年度	5,770	20	0.35	5,771	4	0.07
令和5年度	5,221	16	0.31	5,225	5	0.10

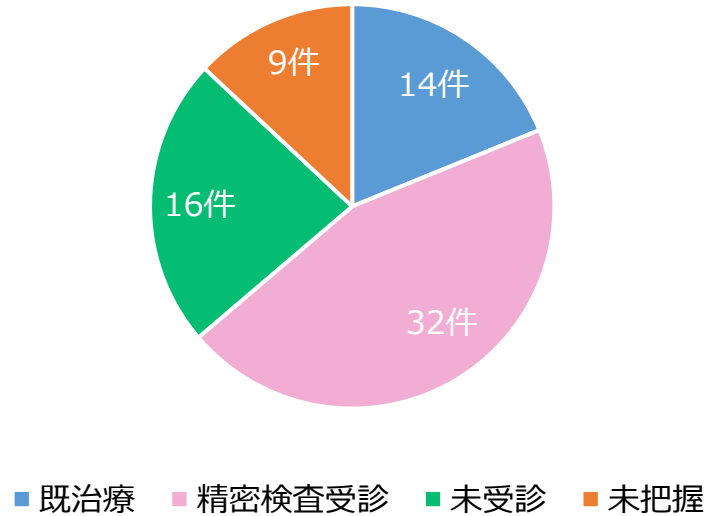
特定感染症検査事業における肝炎ウイルス検査実施件数

	B型肝炎			C型肝炎		
	受検者数 (人)	陽性者数 (人)	陽性者率 (%)	受検者数 (人)	陽性者数 (人)	陽性者率 (%)
令和元年度	759	2	0.26	763	6	0.79
令和2年度	452	2	0.44	452	2	0.44
令和3年度	320	1	0.31	320	0	0
令和4年度	302	2	0.66	302	2	0.66
令和5年度	392	1	0.26	389	1	0.26

# 初回精密検査の受検割合の状況について

令和3年度～令和5年度 肝炎ウイルス検診の未受診・未把握の理由（市町村からの報告により集計）

令和3年度～令和5年度 陽性者内訳

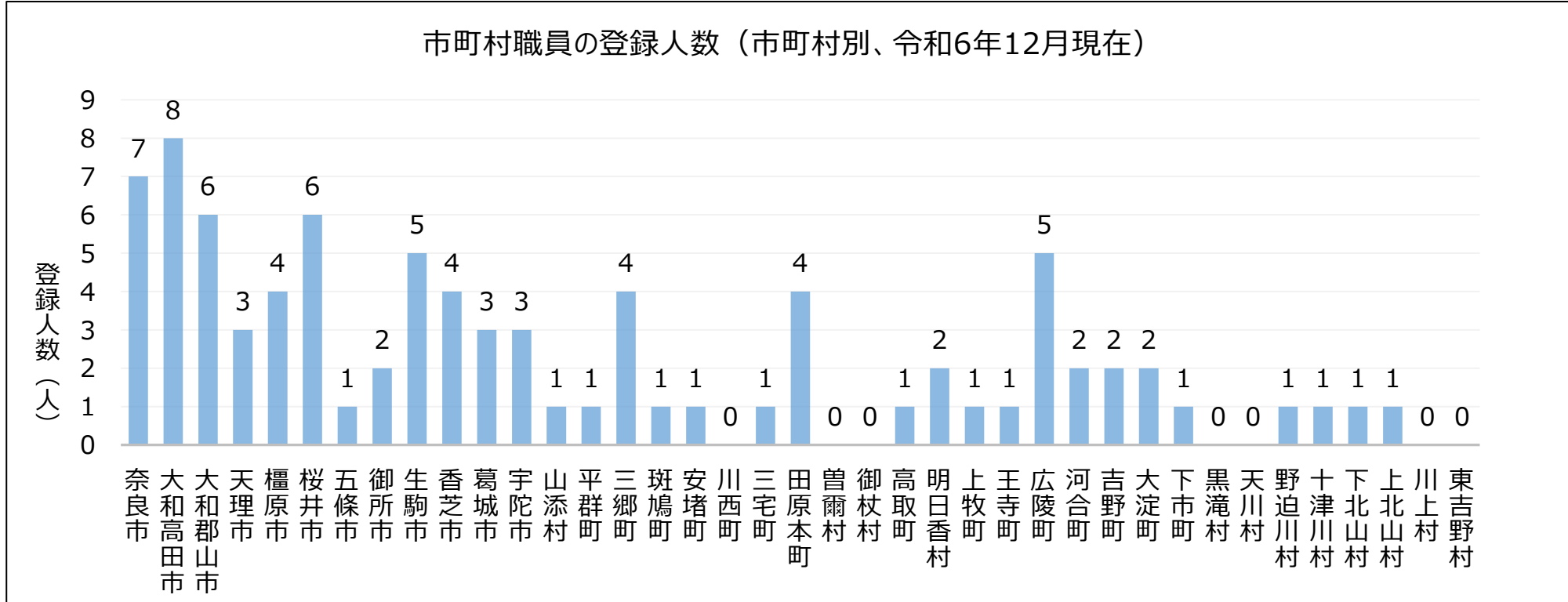


未受診理由	(件)
受診勧奨するも、本人が精密検査受診を拒否している人数	9
本人等に確認し、精密検査未受診であることが確認できている人数	7

未把握理由	(件)
連絡不通	2
医療機関等への問い合わせに同意しておらず、確認できない人数	3
精密検査を受診しているか否か確認していない人数	4

# 奈良県肝炎医療コーディネーターの養成状況について

市町村職員の奈良県肝炎医療コーディネーター登録状況（人）



令和5年度よりコーディネーター養成対象を拡大  
（令和4年度以前は、医療機関関係者と自治体職員に限定）

職種別 奈良県肝炎医療コーディネーター人数（人）

医師	看護師	薬剤師	保健師	臨床検査技師	医療職員	管理栄養士	患者	その他	合計
1	151	124	122	41	41	6	3	13	502



# 奈良県肝炎医療コーディネーターの養成状況について

## 令和6年度 奈良県肝炎医療コーディネーター養成研修会の開催について

本県では、肝炎患者等が適切な肝炎医療や支援を受けられるように、医療機関、行政機関その他の地域や職種の関係者間の橋渡しを行っていただく「奈良県肝炎医療コーディネーター」の養成を行っています。

**日時** 令和6年7月30日(火) 14:00~17:00 (受付 13:30~)

**場所** 奈良県医師会館(橿原市内膳町5-5-8)  
2階会議室

受講料無料

**対象** 市町村、保健所の担当者、医療機関関係者、患者等  
肝炎対策の推進に意欲のある方ならどなたでもご参加いただけます。  
※これまでにコーディネーターの認定を受けていない方が対象です

**定員** 50名(先着順)

### プログラム

奈良県の肝炎対策について	奈良県疾病対策課 感染症係 主任主事 坂野 瑞希
肝疾患の診療と診断	奈良県肝疾患相談センター 専従医師 浪崎 正
当センターにおける肝炎医療コーディネーター支援の取り組みについて	奈良県肝疾患相談センター 相談員 奥野 聖子
肝炎医療コーディネーターになる みなさんへ ー患者から伝えたいことー	東京肝臓友の会・事務局長 米澤 敦子  全国B型肝炎訴訟大阪原告団・役員 奈良肝臓友の会・事務局長 中村 彰宏
肝炎医療コーディネーターの役割 ～佐賀県における取り組み～	奈良県立医科大学 客員教授 奈良県立医科大学 奈良県肝疾患相談センター参与 江口 有一郎

確認テスト

- ・ 肝炎医療コーディネーター支援のため、フォローアップ研修会の開催や、メール・LINEを利用した情報提供等を拠点病院により実施
- ・ 県内の肝炎医療コーディネーターの連携強化を目的として、令和4年度に「奈良県肝炎医療地域リーダーコーディネーター」を拠点病院により設置

コーディネーター養成後の  
活躍の推進や活動状況の把握等が今後の課題

令和6年度養成研修会のプログラム

# 肝疾患診療連携拠点病院の紹介

## 奈良県立医科大学附属病院（橿原市）



奈良県立医科大学附属病院内に、  
奈良県肝疾患相談センターを設置

面談・電話で肝疾患に関する相談に対応

また、肝疾患診療連携拠点病院等連絡協議会の開催、市町村支援、コーディネーター支援、  
肝炎に関する啓発活動等、様々な事業を実施いただいています

# 肝臓学会による「奈良宣言2023」

**Stop**  
Chronic liver disease 慢性肝臓病  
**CLD**  
ALT over **30** U/L

肝機能の数値が基準内でも、肝炎が進行しているかもしれません。  
肝臓は「沈黙の臓器」と呼ばれ、肝炎が進行していても自覚症状がないことが多くあります。  
また、高齢になると病状の進行が早くなります。

肝臓ウイルスから発症する病気

正常 → 慢性肝炎 → 肝硬変 → 肝がん  
場合によっては、慢性肝炎から原発肝がんを発症することもあります。

肝細胞が傷つくと細胞内のAST, ALTが漏れ出して、血管内に移行して数値が上昇します。  
特にALTは他の臓器にあまり含まれていないため、その血液中の高さは肝障害を反映します。

第59回日本肝臓学会総会 奈良宣言2023 奈良30-40宣言  
日本肝臓学会は、U-40のサポートを宣言します。

健康診断等でALT>30であった場合、まずかかりつけ医等を受診し、必要があれば、消化器内科等の専門診療科で精密検査を受け、かかりつけ医と専門医の診療連携による肝疾患の早期発見・早期治療に繋げることを目的として、肝臓学会により発出されました

(第59回日本肝臓学会総会にて)

リーフレット等のデータは肝臓学会のHPよりダウンロード可能

# 啓発の取組について

- ・県HP、県公報紙、奈良新聞等の媒体を利用した啓発を実施

**※ なら健康だより ※ vol.166** 次回掲載予定日 令和6年8月27日 奈良県

**あなたは大丈夫!? 肝炎検診のススメ**

**肝臓週間**

令和6年7月22日(月)～7月28日(日)

肝炎ウイルスは、感染しても自覚症状に乏しいことから、感染に気がつくまで適切な治療を行わないまま放置すると慢性化し、肝硬変や肝がんといったより重篤な病態に進行するおそれがあります。

過去に肝炎ウイルス検査を1回も受けたことがない方は、肝炎ウイルス検査を受けることをお勧めします。

40歳以上の方は、市町村で肝炎ウイルス検査を受けることができます。また、各保健所においても肝炎ウイルス検査の実施をしています。

詳しくは、お住まいの市町村や保健所にお問い合わせいただくか、ホームページをご確認ください。

**HPV「キャッチアップ接種」**

**2025年3月まで**

平成9～19年度生まれの女性対象

HPV(ヒトパピローマウイルス)ワクチンの定期接種の機会を逃した方にキャッチアップ接種(全額公費負担)が実施されています。HPVワクチンは子宮頸がんを予防する効果があります。詳しくは、お住まいの市町村にお問い合わせください。

**【対象】平成9年度～平成19年度生まれの女性**  
(誕生日が1997年4月2日～2008年4月1日)

**【接種期限】令和7年3月31日まで**

**【接種回数】2回または3回**(1回目接種時の年齢により異なります。)

HPVワクチンを3回接種するには、約6カ月かかるため、期限内に接種を完了するには遅くとも2024年9月までに1回目の接種を受ける必要があります。

奈良県疾病対策課感染症係 ☎0742-27-8612 <https://www.pref.nara.jp/4548.htm>

**奈良県の最新情報をチェック!!** 「奈良県公式SNS」を今すぐフォロー!














奈良新聞 なら健康だより  
令和6年7月23日

**県疾病対策課のお知らせ**



第59回 日本肝臓学会総会 **奈良宣言2023** ALT>30+ 肝臓がん検診実施率を上げよう

**奈良宣言をご存じですか?**

肝臓は沈黙の臓器と呼ばれており、肝硬変や肝臓がんに進行して初めて肝臓病が見つかる人も少なくありません。

そこで、肝疾患の早期発見・早期治療につなげるため、日本肝臓学会において「奈良宣言2023」が発表されました。

健康診断などでALT値が30を超えていた場合、かかりつけ医を受診しましょう。

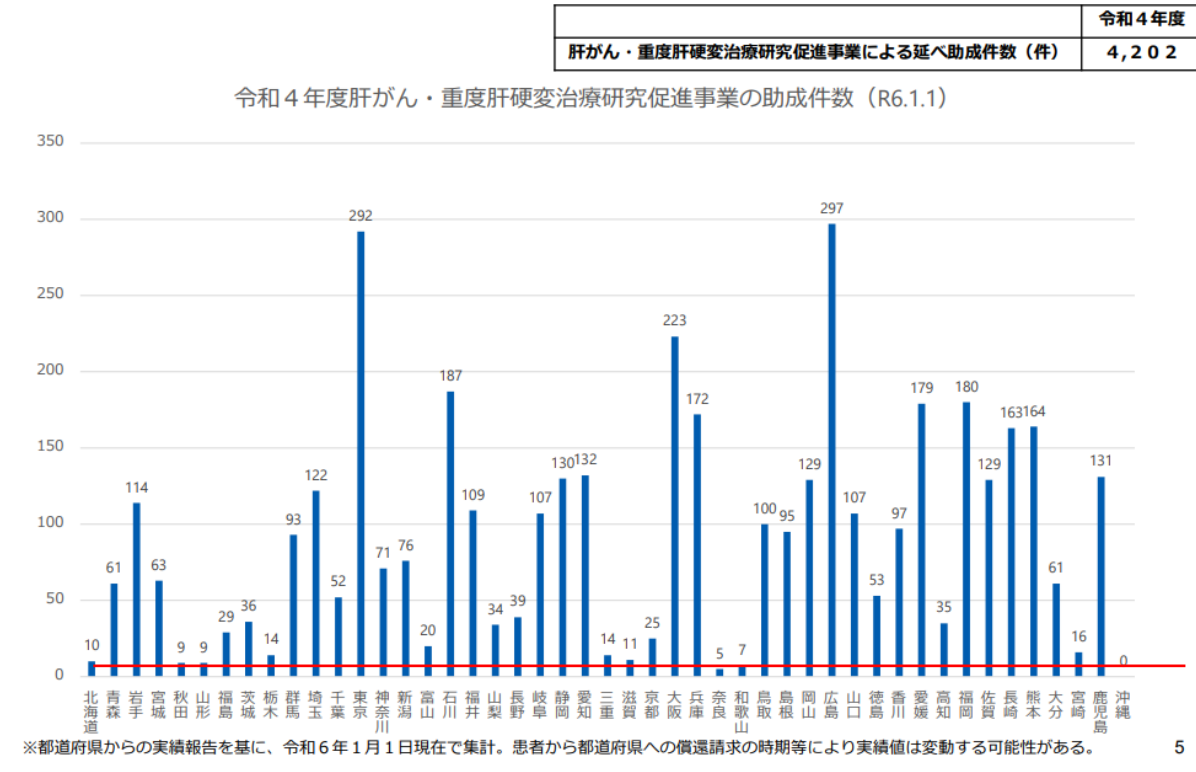
問 県疾病対策課 ☎0742-27-8612 FAX 0742-27-8262

奈良県 感染症対策

県民だより奈良 2024年1月号

# 肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業 周知・活用に向けた取り組み

## 都道府県別の肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業の助成件数 (令和4年度)



出典：厚生労働省 第32回肝炎対策推進協議会資料

## 肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業 周知に向けた取り組み

- ・ 指定医療機関及びがん相談支援センターへのリーフレットの配布
- ・ 課で実施する各種研修会等でのリーフレットの配布
- ・ 県HP及び「がんネットなら」への掲載
- ・ 拠点病院との共催により、当事業の周知・活用を目的としたオンラインセミナーの実施

他の都道府県と比較しても助成件数が少ない状況であり、より効果的な周知や活用に向けた取組が課題であるため拠点病院等と連携して今後も取組を検討していく必要があると考えています



ご清聴ありがとうございました



©NARA pref.